

子どもの成長願い、こいのぼり！

22日、来週から始まるゴールデンウィークを前に、区内各地ではこいのぼりが大空を泳いでいます。一つは、堀ノ内一・二丁目町会が毎年開催している「善福寺川鯉のぼりの川渡し」で、60匹という大きなスケールです。また、区内最古の歴史を誇る大宮八幡宮でも、境内にこいのぼりを立てて、3～5日に開催される「わかば祭り」の参拝者に楽しんでもらうことにしています。

都心ではマンション暮らしなどが増え、子どものために、こいのぼりを上げることができない家庭も増えています。そこで、堀ノ内一・二丁目町会では、こいのぼりが大空を泳ぐ景色を後世に引き継ぐとともに、地域の子どものために地域みんなで育てて行くことを目指し、平成11年から「善福寺川鯉のぼりの川渡し」（堀ノ内1-19付近）を行っています。会場は、地下鉄丸ノ内線方南町駅から徒歩8分です。



今年も、町会の中を流れる善福寺川にロープを渡して、60匹あまりのこいのぼりを設置しています。こいのぼりは、町会の住民の家に眠っていたものを活用して始めましたが、年月が経過する中で、こいのぼりは色あせたり破れたりしたため、少しずつ買い足すなどしてきました。最近では遠方の方から、子どもが大きくなりタンスや物置の中で眠っているこいのぼりを再び大空に泳がせてほしいと寄付されたものも含まれています。色とりどりのこいのぼりが、風に吹かれ川を泳ぐようにも見えます。善福寺川の熊野橋や紅葉橋からの眺めが最高です。こいのぼりは、5月8日まで見ることができます。

一方、東京のへそとして有名な大宮八幡宮（大宮2-3-1）は、区内随一の900年の歴史と1万5千坪の緑豊かな境内を持つ神社です。この参道にも、こいのぼりが掲げられています。こちらは、荘厳な社殿と濃いみどりの中をこいのぼりが泳いでいるように見えます。5月3日から5日は、春の例大祭「わかば祭り」が行われ、多くの参拝者が予想されています。期間中は、稚児行列や野点、植木市など様々な行事が予定されています。大宮八幡宮は、京王井の頭線西永福駅から徒歩7分、永福町駅から徒歩10分です。

